

高知大学地域協働学部 東豊永班 2025年度 第9回実習(10/17)

10月はいり2回目の現地実習、前回に比べて気温も落ち着き、落ち葉なども増えだんだんと秋めく夢来里を実感してきました。この日はお堂の清掃から始まりました。心地よい風に吹かれながらの草引きは、夏の終わりを上げ、一步步冬に向かいつつあるのだと感じられました。

薬草園付近に自生する柿の木は多くの実をつけ、自然の恵みを視覚的に夢来里に届けてくれていました。これからの季節は柚子の収穫が本格的に始まり、夢来里を含め多くの集落で冬支度が始まります。高知県内でも比較的標高が高い大豊町内の集落は雪に覆われるので、今のうちに落ち葉や枯草と戦うことが重用です...が、今は秋の陽気を存分に満喫したいと思います♪